

- 愛着の形成
- 人に対する基本的信頼感の獲得
- 基本的な生活習慣の形成
- 十分な自己の発揮と他者の受容による自己肯定感の獲得
- 道徳性や社会性の芽生えとなる遊びなどを通じた子ども同士の体験活動の充実

- 「人として、行ってはならないこと」についての知識と感性の涵養や、集団や社会のルールを守る態度など、善悪の判断や規範意識の基礎の形成
- 自然や美しいものに感動する心などの育成（情操の涵養）

- 抽象的な思考の次元への適応や他者の視点に対する理解
- 自己肯定感の育成
- 自他の尊重の意識や他者への思いやりなどの涵養
- 集団における役割の自覚や主体的な責任意識の育成
- 体験活動の実施など実社会への興味・関心を持つきっかけづくり

- 人間としての生き方を踏まえ、自らの個性や適性を探求する経験を通して、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考
- 社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力の育成
- 法やきまりの意義の理解や公德心の自覚

- 人間としての在り方生き方を踏まえ、自らの個性・適性を伸ばしつつ、生き方について考え、主体的な選択と進路の決定
- 他者の善意や支えへの感謝の気持ちとそれにこたえること
- 社会の一員としての自覚を持った行動

涵養（かんよう）：水が自然に染み込むように、無理をしないでゆっくりと養い育てること。

情操：美しいもの、すぐれたものに接して感動する、情感豊かな心。道徳的・芸術的・宗教的など、社会的価値をもった複雑な感情

（1）乳幼児期

- 愛着の形成
- 人に対する基本的信頼感の獲得
- 基本的な生活習慣の形成
- 十分な自己の発揮と他者の受容による自己肯定感の獲得
- 道徳性や社会性の芽生えとなる遊びなどを通じた子ども同士の体験活動の充実

（2）学童期

- 「人として、行ってはならないこと」についての知識と感性の涵養や、集団や社会のルールを守る態度など、善悪の判断や規範意識の基礎の形成
- 自然や美しいものに感動する心などの育成（情操の涵養）

（小学校高学年）

- 抽象的な思考の次元への適応や他者の視点に対する理解
- 自己肯定感の育成

- 自他の尊重の意識や他者への思いやりなどの涵養

- 集団における役割の自覚や主体的な責任意識の育成

- 体験活動の実施など実社会への興味・関心を持つきっかけづくり

（3）青年前期（中学校）

- 人間としての生き方を踏まえ、自らの個性や適性を探求する経験を通して、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考

- 社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力の育成

- 法やきまりの意義の理解や公德心の自覚

（4）青年中期（高等学校）

- 人間としての在り方生き方を踏まえ、自らの個性・適性を伸ばしつつ、生き方について考え、主体的な選択と進路の決定

- 他者の善意や支えへの感謝の気持ちとそれにこたえること

- 社会の一員としての自覚を持った行動

涵養（かんよう）：水が自然に染み込むように、無理をしないでゆっくりと養い育てること。

情操：美しいもの、すぐれたものに接して感動する、情感豊かな心。道徳的・芸術的・宗教的など、社会的価値をもった複雑な感情

ペアレントトレーニングつてなに？

家の中で、あるいは外出先で、子どもが「してほしくない行動」をとる場面に必ず遭遇します。そんな時、つい感情的になって子どもに怒ってしまったり、はたまた諦めて放っておく、などといったことが多いのではないのでしょうか。このような対応では、「してほしくない行動」は減るところかますますエスカレートしたり、あるいは反抗的になったり、親子関係そのものが悪くなってしまおうでしょう。「してほしくない行動」を目にすると怒りやイライラがつのり、親や家族自身もストレスを抱えます。また子どもも絶えず怒られる中でストレスを抱えることでしょう。単なる悪循環の繰り返しになってしまうことは少なくありません。

ペアレントトレーニングは、ストレスや深刻な悩みを抱える家族を支援する方法の一つとして、アメリカ・UCLA 神経精神医学研究所のハンス・ミラー博士によって 1974 年に開始されました。日本でもこの方法を改良した肥前方式、奈良方式、精研方式などといった日本版が実施されており、訓練を受けたトレーナーの指導の下で行われています。

ペアレントトレーニングは親が子どもの行動変容における心理やパターンを理解・分析し、問題行動を適切な対応で減少することのできる技術を獲得することを目的としています。全 10 回から構成されており、ADHD の基礎的学習から、分析を見据えた行動分類方法、具体的な対応の仕方を学んでいきます。その中でポイントとなるのは、「行動の分類化」「注目と無視」「トークンシステムとタイムアウト」です。

ペアレントトレーニングの基本的な考え方

- 望ましくない行動は無視
- できない行動には手助け
- できるようになった行動はほめる
- 千里の道も一歩から
- 罰はできるだけ使わない